

総額372億9,800万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会に上程、25日に各上程議案が可決され、閉会しました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、前年度一般会計当初予算（134億7千万円）に比べて、0.01%増（200万円）の134億7千200万円となっています。本市は、平成16年度に普通会計で赤字決算を計上したことから、財政再建団体への転落回避に向け「財政非常事態」を宣言。平成17年度を初年度とする「集中改革プラン」を策定し、市民の皆様のご協力のもと行政改革に取り組んでまいりました。その成果として19年度は9億6千万円の効果額を達成しています。

しかし、扶助費や繰出金といった経常的・義務的経費が大きく膨らむ中で、本市の財政能力を大きく超えた財政需要が発生しており、19年度決算から算定が始まった「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく実質赤字比率は、マイナス6.78%を計上するという厳しい財政状況が続いています。

平成21年度はこうした現況にあります。実質収支の赤字比率に係る許可団体移行水準以下かつ収支均衡型財政への転換をテーマとしつつ、重要課題である防災のまちづくりと子育て支援に配慮した予算編成としました。

争力「整備事業、漁業環境保全推進事業など。」

【働きたい人が働ける環境づくり】
 ☆緊急雇用・ふるさと雇用事業、シルバー人材センター運営補助事業など。

【快適に暮らせる生活基盤の整備】
 ☆たぬき広場野外ステージ改修事業、赤石最終処分場残容量算出事業、防衛施設周辺整備事業、市道整備事業など。

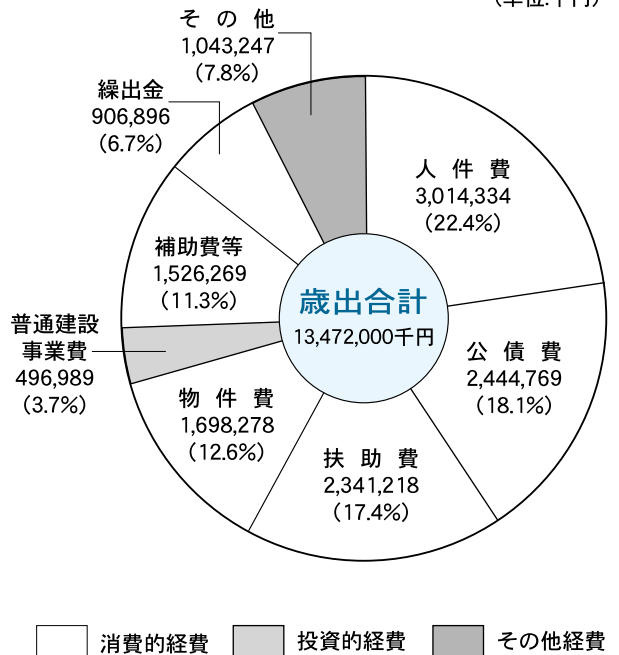
【魅力ある都市基盤の整備】
 ☆小松島再発見事業、自転車歩行者道修繕事業、義経・与一合同サミット開催事業、高速道路対策事業など。

主な普通建設事業は次のとおりです

- ☆地域活性化、都市基盤整備事業 1億7,700万円
- ☆消防施設整備事業 1,300万円
- ☆公営住宅建設事業 2,000万円
- ☆庁舎、福祉施設整備事業 700万円
- ☆文教施設整備事業 1億6,000万円
- ☆農林水産事業 2,800万円
- ☆道路・河川整備事業 5,100万円
- ☆環境衛生整備事業 4,200万円

一般会計歳出(性質別)の状況

(単位:千円)



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。そのため、車券の売上金等の収入から必要経費を差し引いた収益金は、一般会計に繰り出しをし、市道整備等の普通建設事業のために使われます。前年度比3・1%の増となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方を対象に、高齢者世代と現役世代との負担を明確化し、公平でわかりやすい独立した医療制度の実施を目的としている特別会計です。前年度比4・5%の減となっています。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比5・2%の減となっています。

【老人保健医療事業特別会計】

老人の医療給付を行うための事業です。後期高齢者医療制度へ移行したため、前年度比94・5%の減となっています。

【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

【介護保険特別会計】

介護を社会全体で支え、利用者のニーズを尊重し総合的なサービスが安心して受けられる仕組みを創るための特別会計です。前年度比1・4%の減となっています。